



第9号

新川水と里たより

新川農林振興センター

農業農村整備広報・広聴連絡会

〒937-0863 魚津市新宿10-7
電話(0765)22-9137【指導課】

施設の長寿命化活動に対して追加的支援

「農地・水・環境保全向上対策」から「農地・水保全管理支払交付金」へ

平成19年度から農地・水・環境の良好な保全とその質の向上を図る対策として、「農地・水・環境保全向上対策」が実施されてきましたが、農業用排水路等の老朽化が進む中、施設の長寿命化対策の強化が必要となっておりま

す。そのことから、農業者戸別所得補償制度の本格実施に関連して見直しを行い、これまでの資源保全のための共同活動への支援に加え、老朽化が進む農地周りの水路、農道等の長寿命化のための補修・更新等を行う集落を追加的に支援する「向上活動支援交付金」が平成23年度から拡充され、事業名称も「農地・水保全管理支払交付金」に変更されました。



共同活動で行っているヒメイワダレンウの植栽(笠破地域環境保全委員会)

共同活動支援交付金について

市町村と協定を締結した活動組織を支援対象として、地域共同で行う水路の草刈り、泥上げ、農道の砂利補充等、資源の日常の管理と農道脇への花の植栽等、農村環境の向上に資する活動を支援します。

向上活動支援交付金について

共同活動支援に取り組み活動組織及び中山間地域等直接支払制度の集落協定を締結している集落を対象に、農地周りの水路(必須)に加え、活動計画に位置付けた農道、ため池における長寿命化のための補修・更新等の活動に対して支援します。

実施期間は、平成23年度から平成27年度までの5年間です。

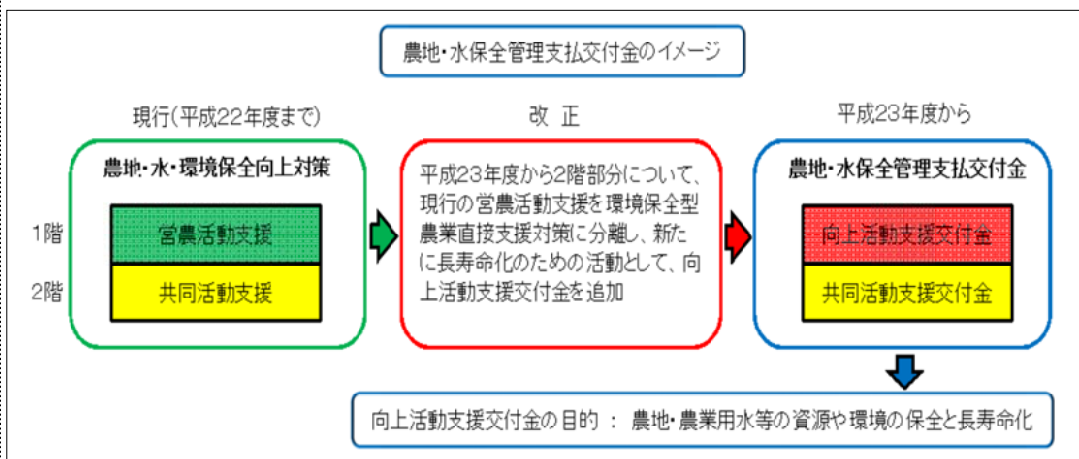
交付金の単価は、田4,400円/10a、畑2,800円/10a、草地400円/10aとなっております。

詳しくは、当センター 指導課指導班、又は各市町村 農地・水保全管理支払交付金担当者までお問い合わせ下さい。

【指導課 指導班】



集落向けリーフレットと手引き



新規地区紹介 経営対育成基盤整備事業 舟川新地区

舟川新地区は、経営体育成基盤整備事業にて、ほ場整備に取り組むこととして、本年度から測量設計に取りかかります。

当地区は、朝日町と入善町の境界に位置し、明治30年代に耕地整理事業で10aの区画に整備されました。この耕地整理事業は、20代の二人の若者を中心



雪山、桜、菜の花、チューリップが色めく舟川新地区の四重奏

ため池等整備事業 島尻地区の紹介

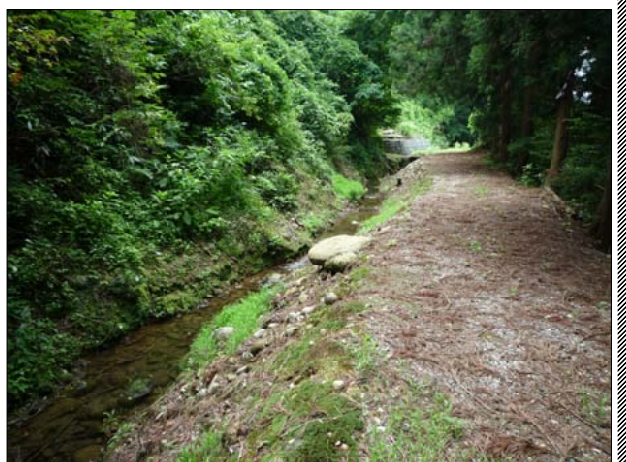
魚津市島尻地区は、平成22年度から、ため池等整備事業として着手しました。本地区は、黒谷頭首工により片貝川から取水している宮谷水路の改修であり、土砂崩壊の防止を目的としています。

この水路は、土水路区間が1680年代に築造されており、平成9年度には、ため池等整備事業片貝地区にて一

も、平成18年度に法面崩壊による水路の閉塞があり、通水不能となる被害が発生し、その後も落石が頻繁に発生していることなどから、引き続き水路を暗渠化する必要があります。

今年度は測量設計を行った後、工事に着手する予定です。

【農村整備課 水利防災班】



330年前に築造された水路

【農村整備課 農地整備第一班】

近年では、地元住民による景観形成活動が積極的に行われており、春には、雪山、桜、菜の花、チューリップの四重奏、秋には「田んぼアート」を見に、多くの方が訪れる絶好の写真撮影スポットにもなっています。

本事業では、用排水路等の老朽化が著しいことや狭小な農地であるため、平成23年度から平成28年度にかけて、大区画ほ場に整備することにより、生産性を向上し、将来にわたり優良農地を維持・保全するとともに、経営体組織による農業経営をさらに進め、地域農業の発展を目指します。

土地改良区紹介

滑川東部土地改良区

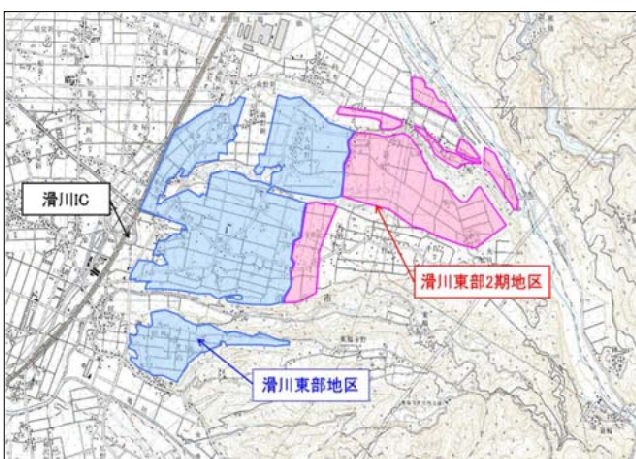
滑川東部土地改良区は、滑川市の旧東加積村及び山加積田林、中加積安田、北加積の金屋、杉本の一部を包含する団地で、この地域の区画整理に併せて排水路施設の改善と維持管理並びに農道の維持管理を目的として、昭和43年から昭和54年までの12年かけて団体営ほ場整備事業を行い、現在は受益面積415畝、組合員数405名となっております。

地形的には早月川扇状地の扇頂部に位置し、河岸段丘により地形勾配の強い地域であり、幹線水路の延長は80kmです。水路は、自然庄によるパイプライン方式をとっていますが施工後約40年以上が経過し水路本体の摩耗・破損や継手部などからの漏水が顕著に見られるようになり、水管理に支障が生じ大変苦慮していました。この状況を受けて平成21年度から大崎野用水



地区内から見える眺望

より下流側を「滑川東部地区」、平成23年度から大崎野用水より上流側を「滑川東部2期地区」として、地域一丸となって経営体育成基盤整備事業(土地総)を取り組んでいます。営農状況としては、コシヒカリを中



「就任しました」 所長挨拶



4月から新川農林に赴任しています長谷と申します。新川勤務は初めてでもあり浅学ですが、少し新川管内の文献を読んでみました。美しく見事に整備された田園風景の中に、先人達が厳しい自然と対峙して、闘ってきた歴史

心とした良質米の生産と転作物である大麦、大豆、ネギの生産に取り組んでいますが、農業従事者の高齢化や新規就農者の減少、担い手不足などに対する新たな対応が近年の課題となっております。経営体事業を契機として担い手への農地集積の加速化を図りたいと考えています。

当土地改良区の取り組みとしては、今年から「土地改良区だより」を発行し土地改良区の運営や役割等をPRして行きたいと思っています。

今後は更に、ふるさとの環境を育んでいるこのような資源を大切に守り育てることを通じ、新たな時代にふさわしい豊かで住みよい農村づくりを目指し、地域に住んでいる人たちがみんなの理解と協力を得ながら、積極的に活動していきたくと考えています。

【事務員 島 麻衣子】

第12回とやま森の祭典で土地改良をPR

5月26日(木)朝日町の棚山ファミリランドにて「第12回とやま森の祭典」が開催され、農業関係者や一般の方など約2,000人が参加されました。

会場には多くの展示コーナーが設けられ、当センターからは農林業を紹介するブースと土地改良を紹介するブース「ため池と農業用水展」が設置されました。

「ため池と農業用水展」では、会場となっている棚山池の歴史や管内の土地改良施設などを紹介したパネルを設置



説明をする七澤さんと平澤さん

ますが、21世紀に入り、更に豊かな新川地域と農林業の振興を目指して、センター職員が一丸となり、各種施策を推進していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひします。

【長谷 則明】



置し、地元の棚山用水組合から平澤さんと七澤さんにお手伝いをいただき、富山県知事や朝日町長を始め、たくさんの方に見学していただきました。その他には、富山県土地改良事業団体連合会のブースも設置され、朝日町土地改良区の紹介パネルや流速計など計測機器類の展示及び試験計測も行われました。

【指導課 計画班】

イベント情報

◎とやまの農山村写真展 作品募集

農業生産基盤、地域の歴史、伝統文化が調和した美しい景観の広がる農山村の素晴らしさや大切さを広く県民の皆様を知っていただく啓発活動の一環として、「とやまの農山村写真展」の作品を募集します。

■募集期間

・5月10日(火)～11月15日(火)

■対象者

・一般部門:ごなたでも応募可能

・ジュニア部門:高校生(18才)以下

■応募・問合せ先

・(社)富山県農林水産公社設計管理課

TEL 076-441-7397

■その他

・作品募集規定など詳細については、とやま棚田ネットワークのホームページでもご案内しております。

「とやま棚田ネットワーク」

http://www.taif.or.jp/tanada/tanada.htm

編集後記

3月11日に発生した東日本大震災から三ヶ月が経過しましたが、仮設住宅の必要数の確保や被災個所の復旧など、未だに復興の兆しが見えない状況となっております。また、原子力発電所の事故においても、これから訪れる夏の電力需要を確保できない恐れがあることから、より一層の節電が求められています。このように色々な問題があると思いますが、今まで以上に手と手を合わせて国民みんなが協力していかねばならないと思ひます。

【nakashima】



がんばろう日本!

当センターのホームページは下記のURLからご覧いただけます。

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1630/index.html

～水と大地の恵みを活かした清流の里づくり～

新川農林振興センター